

## 読解

### 生まれ順にみる子どもの性格

#### 1. 長子の性格

長子は、生まれた瞬間から親をはじめとする周りの人からの愛情を一身に受けて育つため、自己肯定感が高くなる傾向があるのです。他のきょうだいを気にする必要がないので、マイペースでのんびり屋さんな子も多いでしょう。

下の子の誕生により我慢することが増えるので、自制心が強い、責任感が強い、頑張り屋さんが多いのも長子の特徴です。

#### 2. 中間子の性格

中間子は、上の子や下の子、親など、周りの人間をよく見ることができるため、コミュニケーション能力が育っていきます。

人間関係のバランスが良いという一方で、人の感情に敏感で、周りの人の顔色をうかがうような一面もあるので、気にかけてあげる必要があるでしょう。自立心が強いのは、親の関心が上の子か下の子に向きがちなからです。

#### 3. 末っ子の性格

1番手のかかる末っ子は、親から特別の注意が向けられ、可愛がられます。きょうだいの数が多かったり、上の子との年齢が離れていたりすると、お兄ちゃん、お姉ちゃんからも面倒を見てもらえるので、甘えん坊な愛されキャラとして育つでしょう。末っ子は、生まれたときから上のきょうだいに負けないように、自分の存在をアピールしようとします。そのため、自己主張が強い子も多いです。

#### 4. 一人っ子の性格

一人っ子は他に比べるきょうだいがいないので、何事も自分のペースで進めることができます。

また、競い合う存在が身近におらず争いに慣れていないので、穏やかで平和を好む性格になるのです。また、親からの愛情をたっぷり注がれるので、優しい子が多いのも特徴です。

## ふりがな付き（重要語彙）

### 生まれ順にみる子どもの性格

#### 1. 長子の性格

長子は、生まれた瞬間から親をはじめとする周りの人からの愛情を一身に受けて育つため、自己肯定感が高くなる傾向があるのです。他のきょうだいを気にする必要がないので、マイペースでのんびり屋さんな子も多いでしょう。下の子の誕生により我慢することが増えるので、自制心が強い、責任感が強い、頑張り屋さんが多いのも長子の特徴です。

#### 2. 中間子の性格

中間子は、上の子や下の子、親など、周りの人間をよく見ることができ、コミュニケーション能力が育っていき、人間関係のバランスが良いという一方で、人の感情に敏感で、周りの人の顔色をうかがうような一面もあるので、気にかけてあげる必要があるでしょう。自立心が強いのは、親の関心が上の子か下の子に向きがちだからです。

#### 3. 末っ子の性格

1番手のかかる末っ子は、親から特別の注意が向けられ、可愛がられます。きょうだいの数が多かったり、上の子との年齢が離れていたりすると、お兄ちゃん、お姉ちゃんからも面倒を見てもらえるので、甘えん坊な愛されキャラとして育つでしょう。末っ子は、生まれたときから上のきょうだいに負けないように、自分の存在をアピールしようとします。そのため、自己主張が強い子も多いです。

#### 4. 一人っ子の性格

一人っ子は他に比べるきょうだいがいないので、何事も自分のペースで進めることができます。また、競い合う存在が身近におらず争いに慣れていないので、穏やかで平和を好む性格になるのです。また、親からの愛情をたっぷり注がれるので、優しい子が多いのも特徴です。

## 重要語彙

- **生まれ順**：兄弟姉妹の中での生まれた順番
- **長子**：一番上の子供
- **一身に受ける**：全てを一人で受けること
- **自己肯定感**：自分を認める気持ち
- **傾向がある**：そうなりやすい性質がある
- **のんびり屋さん**：ゆっくりとした性格の人
- **自制心**：自分の行動を制御する心
- **責任感**：責任を感じる気持ち
- **中間子**：上と下に兄弟姉妹がいる子供
- **敏感**：わずかな変化にも反応しやすい
- **顔をうかがう**：相手の様子を見る
- **一面**：ある側面、一つの面
- **気にかける**：心配する、注意を払う
- **自立心**：自分で物事をしようとする心
- **～がち**：そうなりやすい
- **末っ子**：一番下の子供
- **手のかかる**：世話や注意が必要な
- **甘えん坊**：よく甘える人
- **愛されキャラ**：みんなから可愛がられる性格
- **自己主張**：自分の考えや気持ちを表すこと
- **一人っ子**：兄弟姉妹のいない子供
- **競い合う**：互いに競争する
- **おらず**：いなくて